資料4

北部丘陵活性化計画アクションプラン進捗確認シート（2019年8月31日現在）

◎：当初予定以上　○：当初予定どおり　△：当初予定を下回る　×：当初予定を大幅に遅れている

事業番号	事業名称	指標	2019年度実施計画	進捗状況	進捗状況の背景 （2019年4月1日～8月31日までに実施したこと）	2019年度該当事業予算額	今後の予定 （2019年9月1日～2020年3月31日までに実施すること）	備考
1	新たな交流・回遊拠点の開設【重点事業】	開設された交流・回遊拠点の数	交流・回遊拠点の開設 2箇所（累計）	×	交流・回遊拠点開設に必要な諸条件を確認し、開設方法の検討を行いました。（農業振興課）		交流・回遊拠点の内容や候補地、運営方法等について、プランの検討を行います。検討にあたっては、地域の皆様とお話ししながら進めてまいります。（農業振興課）	
2	里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築【重点事業】	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積	モデル地区での事業の実施	△	山林バンクモデル事業候補地について、活動希望団体へのヒアリングを行いました。 山林バンク実施に向けて、活用できる可能性の高い土地の判定に必要なデータ作成の準備を行いました。（農業振興課）	里山環境調査・資料作成委託料　6,000千円	活用できるエリアと活動内容について、活動希望団体と山林バンク協定を締結し、活用を進めます。 また、2020年度の山林バンク本格稼働に向けて航空写真、図面等、データを作成するとともに、制度化を図ります。（農業振興課）	
3	「（仮称）北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の構築【重点事業】	「（仮称）北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げ	「（仮称）北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げ	×	2017年度にドリームミーティング、.2018年度に小野路ミーティングを開催しましたが、活動の立ち上げまでには至りませんでした。その結果を踏まえ、課題を整理し、新たなミーティング開催に向けた検討を行いました。（農業振興課）	北部丘陵活性化計画推進委託料 1,000千円	新たなミーティングを実施し、北部丘陵に興味関心を持つ方を増やすとともに、試行的にイベントまたは活動を実施することで、小さなプラットフォームを立ち上げる手法を確立します。また、「北部丘陵まちづくりのネットワーク」構築に向け、活動主体間の協働や連携による試行的な取り組みを実施します。（農業振興課）	
4	幹線道路等の計画・変更等【重点事業】	市道忠生579号線（Ⅰ期）及び市道忠生630号線（Ⅱ期）の整備完了	用地取得、整備（一部区間）	×	・忠生579号線（第Ⅰ期） 2016年度から事業協力を得ることが出来た地権者の所有地にて測量を実施していますが、測量業務が完了していません。そのため、2018年度に事業工程の見直しを行い、整備完了を2019年度から2027年度に変更しました。（道路整備課） ・忠生630号線（第Ⅱ期） 2017年度に事業工程の見直しを行い、整備完了年度を2019年度から2021年度に変更しています。2018年度から用地取得を行い、2019年度は一部の区間において整備工事を行っております。（道路整備課）	・忠生579号線（第Ⅰ期）　13,0000千円 内訳 委託料：13,000千円（道路整備課） ・忠生630号線（第Ⅱ期）　731,736千円 内訳 需用費：72千円 委託料：15,550千円 工事請負費：163,400千円 公有財産購入費：205,314千円 負担金補助及び交付金：190,900千円 補償・補填及び賠償金：156,500千円 （道路整備課）	・忠生579号線（第Ⅰ期） 全地権者から事業に賛同いただけるよう繰り返し丁寧に説明を行い、引き続き測量業務を実施します。また、測量完了後、詳細設計を実施し、2027年度の整備完了を目指します。なお、2019年度の整備完了を目指していましたが、測量業務が完了していないことから、2018年度に事業工程の見直しを行いました。（道路整備課） ・忠生630号線（第Ⅱ期） 道路線形について、関係機関との調整に時間を要していたことから、2017年度に事業工程の見直しを行っています。引続き用地取得を行い、2021年度の整備完了を目指します。（道路整備課）	・忠生579号線（第Ⅰ期） 2018年度に事業工程見直し 整備完了：2019年度→2027年度に変更（道路整備課） ・忠生630号線（第Ⅱ期） 2017年度に事業工程見直し 整備完了：2019年度→2021年度に変更（道路整備課）
5	北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信【重点事業】	市主催イベントの申込率	73%	○	【小野路町奈良ばい谷戸】 ・里山散策とタケノコ掘り（4月） 定員15組に対し、35組の申込みがあり，申込率は100%でした。 ・親子で田植え体験（6月） 定員20人に対し、16人の申込みがあり、申込率は80%でした。 （農業振興課）		広報まちだ、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等、様々な媒体を使用し、情報発信を強化し申込率の向上を図ります。 ＜情報発信を行う主なイベント＞ 10月19日開催予定、奈良ばい谷戸「親子で稲刈り体験」 11月9日開催予定、奈良ばい谷戸「親子でサツマイモ掘り体験」 11月10日開催予定、源流保水の森「鶴見川源流ウォーク」 2020年2月開催予定、源流保水の森「植樹会」 （農業振興課）	
6	農地の改善や農道の整備	整備した農道の総延長 整備した農地の総面積	農道：約3,500m 農地：約2.6ha	○	・東京都から補助金の交付を受け整備するため、8月に東京都の担当者と現地を確認しました。（農業振興課）	整備工事費20,000千円（農業振興課）	引き続き東京都との協議及び工事発注に向けた準備を行い、農閑期に整備を行います。（農業振興課）	当初は農道150m、農地4,468㎡整備予定でしたが、整備規模を縮小したため、農地3,338㎡の整備となる見込みです。 2019年度は農地3,338㎡整備することで、累計は農道3,269m、農地18,742㎡となる見込みです。そのため、目標面積である農道約3,500m、農地約2.6haには届かない見込みです。（農業振興課）
7	農業研修事業	農業研修事業修了者数	96人（累計）	△	2018年度に11名が研修を修了し、研修修了者の累計は85名となっています。現在18名が研修に参加しており、2019年度は9名が修了する見込みです。（農業振興課）	消耗品費107千円 光熱水費106千円 緊急修繕料80千円 研修農場管理運営委託料4,200千円 バイオトイレ保守点検委託料251千円 バイオトイレ清掃委託料886千円 剪定・除草委託料40千円	新たな担い手を育成するため、引き続き、農業技術を身につける研修を行います。また、募集定員（13名）に満たない年が続いているため、ホームページやSNSを活用して農業研修事業を効果的にPRし、来年度の参加者を例年よりも増やします。 （農業振興課）	2015年度から農業研修の修了性を対象に、更なる農業技術の向上と経営のノウハウの習得等を目標にフォロー研修を開講しています。累計修了生は16名となっており、現在は3名が研修に参加しています。（農業振興課）

北部丘陵活性化計画アクションプラン進捗確認シート（2019年8月31日現在）

資料4

◎：当初予定以上　○：当初予定どおり　△：当初予定を下回る　×：当初予定を大幅に遅れている

事業番号	事業名称	指標	2019年度実施計画	進捗状況	進捗状況の背景（2019年4月1日～8月31日までに実施したこと）	2019年度該当事業予算額	今後の予定（2019年9月1日～2020年3月31日までに実施すること）	備考
8	農地あっせん事業	あっせんを行った農地の面積	約14.7ha（累計）	○	2019年4月1日付けで、1件（約0.26ha）の新規農地の貸借が成立し、合計あっせん面積は、約15.6haとなっています。（農業振興課） 2019年8月31日現在、2件(約1.1ha)のあっせんを行いました。（農業委員会）	町田市人・農地プラン策定検討委員会委員謝礼52千円（農業振興課）	2019年度においても、農地バンク公開を実施します。また、農地バンク登録農地を増やすため、農地パトロールを継続して行うとともに、農地あっせん事業の実施方法の見直しを検討していきます。（農業振興課） 相続発生者に対して、調整区域農地を所有しているか否かヒアリングを行うなどして情報収集するほか、農地パトロールを適宜行うようにし、肥培管理の行き届かない農地所有者に対して農地バンク登録を促します。（農業委員会）	
9	農業体験事業	市民農園、体験農園、収穫体験農園の合計数	農業者等への働きかけ	○	農業委員会だより等を通じて農家に開設を働きかけました。（農業振興課）		引き続き農業委員会だより等を通じて農家に開設を働きかけます。（農業振興課）	
10	市民協働による里山環境の再生・保全	市民協働による里山環境の再生・保全を実施した事業数	新たな場所での取り組みの働きかけ	○	4月20日開催小山田の森委員会において、小山田四季彩の森の山林保全と活用について意見交換を行い、例年実施している小山田四季彩の森でのイベントにおいて、新たに参加対象と周知方法の拡大を図ることとしました。当日は近隣小学校の運動会の予備日となっており、小学生の申込が少なかったですが、昨年を上回る47名（昨年度42名）が参加しました。終了後に実施したアンケートにおいても、多くの方に満足していただけたという結果が得られました。（農業振興課）	講師謝礼　400千円（農業振興課）	10月20日開催予定の小山田四季彩の森収穫祭イベント「サツマイモの収穫体験」では、例年の内容に加え、森の葉っぱなどを使用した仮装で、地域の方のご協力を得て「プチハロウィン」を行います。 11月4日には、田中谷戸つつじの里収穫祭にて、サツマイモや里芋等の収穫体験イベントを行います。イベントでは収穫体験の他、市内の高校生が企画した子どもたちに向けのプログラムも実施します。 2月開催予定、木こり応援隊で、樹林地の樹木伐採体験を行います。伐採した枝木はお土産としてお持ち帰りいただけます。（農業振興課）	
11	生活道路の整備	都道155号線の事業決定	地元の合意形成に向けた支援、整備及び管理計画の策定	△	・測量については、一部の地権者との協議を行った結果、対象地での測量の合意を得ることができました。 ・関係部署と整備と管理の手法について、協議を行い整備及び管理計画（案）の内容を追記しました。（農業振興課）	委託料　500千円	・地元の合意形成に向けて、田中谷戸街づくり協議会を支援していきます。 ・実施手順、工程等について東京都等の関係機関と協議を継続し、都道155号線整備及び管理計画の策定を目指します。（農業振興課）	
12	新規バスルートの整備、増便	バス事業者が新たに自主運行を行った路線数	検証運行（小山田桜台、唐木田間）	○	利用者数拡大のため、2019年8月1日に小型バスによる運行を開始しました。（交通事業推進課）	【2019年度当初予算額】 負担金補助及び交付金　32,850千円 （路線バス新規路線導入実証実験運行事業補助金）（交通事業推進課）	小型バス運行開始後の利用状況を把握しながら運行を継続していく予定です。（交通事業推進課）	
13	市街化調整区域における土地利用方策の検討（地区計画制度等の活用）	市街化調整区域内における地区計画活用の考え方の決定	地区計画活用の考え方の決定	○	・2017年度　運用指針（骨子）を作成 ・2018年度　市街化調整区域の地区街づくり団体と意見交換しつつ、運用指針を取りまとめ ・2019年度　東京都協議を経て 、運用指針を策定（予定）（都市政策課）			
14	里山の景観を楽しむ散策コースの整備	新たに整備された散策コースの数	権利者等との調整	×	里山散策コース整備箇所の検討を行いました。（農業振興課）		引き続き、整備箇所候補地を調査し、必要に応じ権利者等との調整を行います。（農業振興課）	
15	花のある道づくり	整備された箇所数	新たな場所での実施 2箇所（累計）	○	候補地と花の種類について、地域団体や大学と意見交換を行いました。（農業振興課）		候補地の植栽に向けた具体的な検討を進め、連携・協力できる方に声掛けを行います。（農業振興課）	